

令和5年度第1回 印西市国際化推進懇談会 会議録

日時	令和5年6月30日（金）午前10時30分から11時30分
場所	印西市役所 会議棟 204会議室
出席者	宍戸真会長 川喜多英博委員、山口道博委員、富田多美子委員、治田三夏男委員、渡邊信委員、マクドエル デービット ジョン委員、渡辺正委員、江波戸洋子委員、リン エリック委員、張京玲委員、ラビンドラ レイ委員、マイケル フィルハート委員、齋藤マリア ジェシカ委員 （計14名）
欠席者	チュ ティ ロアン オアイン委員 （計1名）
事務局	企画政策課 武藤課長、千葉井係長、矢口、大江
傍聴者	1名

議 題

- (1) 令和4年度事業実績報告について
- (2) 令和5年度実施予定事業報告について
- (3) 印西市外国人市民意識調査（案）について

議事録（要点筆記）

- (1) 令和4年度事業実績報告について

事務局 【資料1に基づき、令和4年度事業について報告】

【以下、質疑応答】

治田委員 3ページ目防災課の10か国で読める・聞ける防災総合ガイドブックについて具体的どのように配布されているのか。たとえば市民課で転入してきたときなのか、公民館などで配布されているのかなど。

事務局 最新の配布方法については確認したいが、以前までは転入のときに、その他の行政案内資料と一緒に配布している。【翻訳した行政案内配布物を委員に回覧】

事務局 【資料2に基づき、令和5年度事業について報告】

【以下、質疑応答】

治田委員 4 ページ目の学務課の小学校、中学校への日本語指導員の配置について昨年度の予算と比べれば増額していると思うが、市内の外国人の子どもたちも増えていると伺っており、その伸び率はどうか。また、英語指導と比べると日本語指導の金額が少ないのではないかと感じるが、実態は足りているのか。

事務局 印西市内の外国籍の児童に関しましては、最新の情報ですと147人、中学校生徒だと46名、在籍しております。その中で教育委員会で外国籍児童を考慮しながら配置していると思っております。
また英語教育に関しては必須科目になっているかと思われます。13名のALTの先生を配置しておりますが、日本語指導員の配置につきましては、外国人の方がこの10年で、1800人近く増えている状況を踏まえ、また予算的に賃金の単価が上がったための増額だと思われるので、人数的に変わっていない。この件に関しては、委員の意見を担当課に伝えて参ります。

富田委員 小学校4名、中学校1校はどこか。

事務局 申し訳ありません。把握しておりません。

江波戸委員 1 ページ目、下から2番目の指導課のイングリッシュアカデミージャンプで中学生はメルボルンにいつ頃行かれるのか。

渡邊委員 8月19日から行くことになっております。

渡辺委員 2 ページ目のイングリッシュアカデミーホップ・ステップでは成果がでるようなことをなさっているのか。去年参加している生徒の反応はどうか。

事務局 今年度も実施するが、学年に応じて教育を充実できるように委員の意見を担当課へお伝えする。

渡辺委員 この事業は海外派遣の予算に比べて極めて少ない。もう少し捻出させ、福島県にあるブリティッシュアカデミーのような宿泊施設などに派遣するのも良いのではないかと。ご検討願えればと思う。

渡邊委員 ホップ・ステップ・ジャンプはそれぞれ毎年行っているが、予算が少ないのは、ALTの会社に英語指導として契約が組み込まれているので、ホップ・ステップには予算が少ないのかなと思われる。

事務局 【令和6年度外国人意識調査（案）について説明】

【意見について質疑】

デイ委員 自分で日本語を勉強しているが昼間は同じ男性で日本語教室に来る方が少ない。みんな昼間は働きに行ってしまう。夜間の日本語教室を行ってほしい。夜間の教室だったら、たくさん来るんじゃないか。安全・セキュリティの問題もあるから難しいかもしれないけど遅くまで開いてる会議室のある施設もある。周知も足りないんじゃないか。

齋藤委員 車が無く会場まで行けない人もいる。オンラインで出来るように参加できる人が増えると思う。

治田委員 夜しか勉強できない方は、確かに増えている。技能実習生も増えている。それもあって日本語教室りぼんでは、働く人を中心とした講座を土曜日と日曜日の夜6時から行っている。どれだけ必要とされている方に認知されているかは、まだまだ不十分だと感じている。市の方でも、転入のタイミングでチラシを配ったり、公共施設でチラシを配布したりしているが、日本語がわからない方がどんなにチラシを見ても、よくわからないので、そのあたりのPRの仕方を考えていく必要がある。現在2800人近くの外国人がおり、国籍だけでも67、8か国の方がおり非常に多岐にわたっている。どのような形で認知していくか国際交流協会としても今後の課題である。

仕事や家庭の事情で集合教育に来れない方につきまして、コロナが流行した影響もあってオンラインでの授業が話に聞くとほかの自治体では定員が満杯になるほど利用されている。印西市では、まだそれほど実施はされていない。今後の課題としてこういった形でやった方がいいのか、千葉県東葛地区の日本語教育の連絡協議があり、そちらでもオンライン講義について一つのテーマとなっているので、国際交流協会としても考えていかなければいけないので、我々も勉強しながら、できるだけ早く形にしていきたいと考えている。

川喜多委員 印西市における日本語を教えることについて、国際交流協会のなかで日本語を教えているが、ボランティアということで講師をやってもらっている。今後、それなりの支援制度なり主体的な行政の制度づくりを検討してほしいなと考える。

江波戸委員 白井市の方でも日本語教室を行っているが、夜の講義は火曜日と水曜日の夜7時から9時にそれぞれ20名ほどの外国人を教えているが、以前は昼の時間帯のみだったが、夜の要請が多く、今では夜の時間帯での参加者が多くなっている。教える人が足りず参加者の順番待ちが起きている現状である。クラスの増設についても行政にもっと関わってほしい。

事務局 外国の方が日本で暮らすにあたり、言語がわからないのは、苦痛ではないかと考えている。現在、日本語教室りぼんの皆様には、ボランティアということで、ご支援いただいていることに大変感謝しております。本日ご意見いただいたことは、しっかりと受け止めさせていただき、今後については、ご相談させていただこうと考えております。

斎藤委員 いじめや差別の問題について考えてもらいたい。いじめから、仕事を辞めてしまう者もいる。印西市に法律があれば、印西市で外国人を雇うすべての企業に、いじめ防止のホットラインを設置してもらいたい。またいんざい君のステッカーが色々あるが、いじめをやめようといったステッカーを見たことない。可愛らしいそういったステッカーが学校などにあるといいなと思った。

事務局 相談窓口については、毎月第3水曜日に市で外国人相談を受け付けています。市以外にも国や県とで相談体制もあるので、関係各所からの情報というのは、逐一調べて発信をさせてもらい、ご相談が入った際には、外国人の方に寄り添う姿勢で取り組んでまいります。

渡邊委員 いんざい君のステッカーではないが、「なくそういじめ増やそう街にみんなの笑顔と笑い声」のポスターが各学校に貼ってあります。

江波戸委員 いじめに関しては、日本人も外国人も関係ない。今回の中で話すこととすれば、話す相手がいらない、日本語がわからないといったことで、いじめられてしまうのではないかと思うので、そこに関してはフォローしていかなければいけないし、それ以外のいじめについては、日本人も一緒なので、別の機会に話すことだとは思う。

フィルハート委員 行政の情報がどれだけ届いているか疑問がある。WEB サイトなどに情報は掲載されているかと思うが、今の時代は SNS など、もう少し簡単に早く短く情報を取り入れるのが主体だと思う。市はそういうアイデアをお持ちか。

事務局 ホームページに国際化に関する情報は掲載しておりますが、あとは Twitter などにも情報を載せています。今後も SNS を可能な限り利用し情報を発信してまいります。

フィルハート委員 そういったところに夜間の語学教室など掲載できればアクセスしやすいのかなと思う。

富田委員 小中学校はスクリレというものを活用し学校からの情報を提供されているがそういったものも活用されてはどうか。

事務局 小中学校でスクリレを活用していることは把握しており、その都度、教育委員会に相談し活用したいと考えております。

事務局 以上をもちまして、令和5年度第1回印西市国際化推進懇談会を終了いたします。
長時間、ありがとうございました。

令和5年6月30日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年 7 月 12 日

会議録署名委員

渡 邊 信